

実施後のアンケート結果

2023年9月26日(火)、「オンライン版グローバルジェンダーギャップ指数を考える」を開催しました。参加者は話題提供者を除き38名、事後アンケートへの回答者は18名でした。

項目3と4に寄せられたコメントのうち、感謝の言葉などは一部略しています。

1. 所属

大学女性協会会員 15名 非会員 3名

2. イベントの内容はいかがでしたか？

とても興味深かった(15) やや興味深かった(2) ふつう(1)

3. GGGI 向上のために、ご意見や提言があればお願いします。

(◆は、イベント開始前にいただいたコメント)

【経済関連コメント】

◆コロナ禍で低迷した経済です。立ち直すには、それぞれの購買意欲を高める必要があります。それには、将来への不安を取り除くことです。年金、介護、病気等々 安定した国の政策が大切になってきます。外需に向けてきた政策を内需重視に変更するときに来ているのではないのでしょうか？

*同一労働同一賃金になかなかならないことが課題。配偶者控除の枠内で仕事をしたい女性が多いことも課題。それはやはり家事労働、介護は女性ということから抜けられない古い考えがあるからかもしれないと思います。学校も企業も各団体も自治体の委員会も男性がほとんどの会議体で意見を出して話し合われているように感じますし、話の中で紹介されていた取り組みがどんどん進んでほしいと思いました。また、このようなセミナーに参加する人を増やしていくことが大切と思いました。

*賃金格差の問題は、意識の問題ではなく、経営層や日本の雇用体制の問題なので、解決する気になれば解決する気がします。

【政治関連コメント】

◆まず女性議員育成に特化した塾をつくることだと思います。徹底した育成プログラム遂行が必要です。カリスマ女性議員が出ると後に続き易いと思います。女性総理誕生へのプロジェクトチームを発足させましょう。子育てとの両立できる世の中になるといいですね。

*何と言ってもまず新しい政治へ大きな変革が必要です。松下塾のような未来の政治家を育てる塾が必要。男性女性同数の人数で同等平等に発言できる塾のシステムが良い。

*数値の出し方に疑問があります。「質」が入っていません。男性政治からの脱却など唱えなくて人間として積極的に政治に参加し成果を上げれば男女を問わず支持者がふえるはず。203030とか言って男性にルールを敷いてもらっているうちは指数は上がらないでしょう。

*特に政治の分野の低さは気になりますが、現在の選挙制度や、ロールモデルの必要など良い意見が出ていました。後、世襲議員が多いことも気になっています。

*副大臣と政務官 54 人…女性が一人もいない。JAUW のような団体はすぐ抗議したら良いと思います。

他の国はジェンダー平等がどんどん良くなっているのに日本は変わらない。「日本人は自分の意見を言わない」。女性が自分の意見を言わないと何も変わらない。悪循環だと思います。

【教育関連コメント】

◆各高等学校へ大学のプラス点を熱心に説いてまわってほしいです。女性にとって教育を受けることの意義の発信することが大事です。大学卒業後⇒就職⇒大卒としてのプラス面を大いにPRしましょう。古い家族制度は打破しないとイケません。授業料が高いという意見があります。助成の充実が必要です。

*自分の意見が言えるように初等教育から替えていく必要があるかもしれないと思います。が、どんな意見も受け入れてもらえる環境であるためには大人も変わらないとイケないとも思います。

*ご準備頂いたグラフから、GGGI で日本が高い数値を出している「教育」においても、研究に時間を要する工学系、理学系で女性の割合が低かったり、教授や准教授の割合が低かったり、と大きなジェンダーギャップがあることを、あらためて学びました。
奈良女子大学に工学部が新設されたことや、名古屋大で子育てしやすい環境が準備されていること、地方で女性議員数が増えていることなど、日本も少しずつ前進しているように思いますが、それでもGGGI が下がったということは、世界はもっと早いスピードで前進しているのですね。

*欧米でも、Wカップの出場報奨金の男女格差が、縮小されているニュースが流れていましたが、ジェンダーギャップは長い歴史を持つグローバルな課題だと思います。
特に日本では、男女の差なく小さい頃から自分の意見を発表していく教育が、将来の仕事（経営者や政治家や教育者など）に積極的な意欲を育てるように思います。
子供達の毎日の授業が、授かるだけでなく男女ともに創造性を育む時間になることを期待したいと思います。

*教育の必要を強く感じています。先日、元中学教員の方とお話したのですが、教育の現場では、教室にタブレットを持ち込むなど、大きく変化していて、もう戻っても無理とのことでした。本日、中道さんからもググるとの言葉がよく出ましたが、知識はググれば出てきますので、これからの教育では、人間として必要なことにもっと重きを置いた教育が必要と思いました。それには政治の分野が大きくかかわってきますが、文科省がどのように変わってゆけるかも問題になってくると思います。

【分野にまたがるコメント】

*GGGI が際立って低い経済や政治について（教育の教授における女性比率も同じですが）、すそ野となる女性人口が広がらないと、本当の意味での向上に結び付かないと感じます。少しずつは改善方向へ向かっているとはいえ、トップが少ないと（魅力を感じず）その道に進む女性が増えない、その道に進む女性が増えないとトップが増えることが難しいという悪循環を感じます。

*これからはどの分野においても、若い女性の活躍が必須だと思いました。

*ジェンダーフリーの意識向上を地道に目指していきたいと思いました。一人ひとりの姿勢が大事です。

*小学校からジェンダー平等教育を徹底する。女性議員を増やす。賃金格差をなくす。女性の正規雇用を拡大する。働きやすい環境づくり。家庭内での平等の実践。

*社会的価値が同じ人ならば(人間的価値は平等です)、性別を問わず平等に遇される、というふうに、人々の意識が定着するまで、あきらめずに根気強く声を上げ続けるしかないと思います。

*この問題は、女性だけのものではなく、男性も女性も意識を高める必要があると思います。

すそ野を広げるには今回のような地道な講演会やシンポジウムが有効だと思います。おそらく何度も何度も、色々な場所で繰り返す必要があるでしょう。その先、どなたかが提案されていた少し専門的な政経塾があるとよいと思います。政策決定ができる女性がふえれば世の中が変わる気がします。一般市民が、政治も経済ももっと身近に考えることが出来、日常的に話題に上るようになっていけばいいですね。さらに、大人の意識を変えることも必要ですが、家庭でも、学校でも、子供たちが迎える次の世界はどうあるのがよいのか、みんなで考える時間を持つ。かたぐるしくなく、自然な形で。

*ジェンダー論はおもしろいが、GGGIの向上のために 個人の努力はアホらしい。

4. 意見や感想など、自由にお書きください。

*教育の必要性について、理解を深めることができました。今後、教育の影響、効果について海外の情報も集めて、日本でどのように進めていくのが良いのか考えていきたいと思いました。情報発信いただけるような機会があると嬉しく思います。

*GGGI については、新聞で見るだけで、詳細には不案内で、数値を眺めておりました。解説を聞かせていただいて、GGGI というデータのとらえ方について、学ばせていただきました。(今日のお話を伺っていると、GGGI は、もちろん現在のものでも、いろいろ意味するところは多いですが、小項目数がもう少し多くあるべきかと感じました。)

*杉並区民として、新しい岸本聡子区長がどんな人か、講演会の印象ではなかなかはっきり意見を述べる方だなどと思っていた矢先、荻窪地域区民センターでばったりお見かけしました。用事をすませ、駐輪場から二人の男性を従えて自転車にさっと飛び乗り去って行かれました。格好良かったです。

*世界に対抗できる人間を育てること。そのために幼児教育から英語力とディベート力をつける教育が必要。人間力に自信をつけることにより自然とジェンダーギャップも消えていくのでは。教育の変革が今一番必要。教育にもっと予算を付けて有能な人は誰でも平等に教育を受けられるようにしなくてはいけないと思う。

*日本が、いかに「変わることを極端に嫌う」国であるかが、よく理解できます。変わらなきゃ!

*貴重なデータを、ありがとうございます。若い人たちに是非伝えていきたいと思いました。

*あらためて、日本の GGGI についての問題点の深さも感じました。

「教育」や「政治」あるいは「家事」「育児」など焦点をしばった勉強会も企画して頂ければと思います。

- * 行政に携わる者としての立場と、個人の立場が一致せず、苦悩の日々です。
- * 今まで、順位だけを気にしていましたが、昨日のお話で、それだけではいけないということ、よく理解できました。数字の意味するところを解説して頂き、蒙が啓かれた思いです。Q & A セッションの折に質問者が言及した選挙制度との関わりなど、これからもっと解明すべき点があるように思われました。
- * もっと知りたい人にはQRコードをつけてくださり、感謝です。
教育分野と保健分野の指標の決め方には、少し疑問を持ちました。これをころころ変えるわけにはいかないでしょうが、もう少し別の指標で踏み込めないかと思いました。
- * キリスト教などの文化的・歴史的に二世紀近くの間差がある西ヨーロッパ社会のものさしで日本の現代社会を計ること 話としては面白いが 孫子世代の活力には イマーです
- * Zoom ですが、参加者の顔が見えるようにしたほうが良いと思います。GWI の Zoom のように原則として顔は見せる（ビデオを ON にする）。見せたくない人は自分で OFF にする。